



リハビリテーション
シリーズ①

運動機能障害に対する理学療法の流れ

私がお伝えします



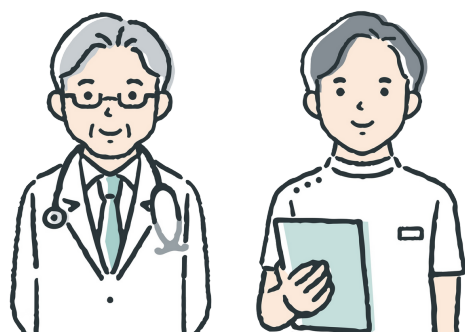
社会医療法人ペガサス 馬場記念病院
理学療法士



リハビリテーションは、入院中から退院後の生活まで切れ目なく続くことが重要です。馬場記念病院では、患者さま一人ひとりの状態や目標に応じて、段階的かつ安全に理学療法を実施し、回復と安心な生活復帰をサポートしています。

入院中のリハビリの流れ

馬場記念病院では、入院時に医師と理学療法士が初期評価を行い、患者さまの状態や目標に応じた治療計画を立てています。入院中は、筋力強化や歩行訓練といった個別の運動療法に加え、温熱療法や電気刺激療法などの物理療法を組み合わせながら、日常生活動作（ADL）の改善を支援します。さらに、装具や補助具を適切に導入することで、安全性を高めながら自立した生活の実現を目指します。



退院後のサポート体制

退院後も、外来や訪問によるリハビリテーションを通じて、機能維持と生活の質（QOL）の向上を支援します。自宅での転倒予防や環境整備、ご家族による介助方法の指導なども重要です。また、介護保険サービスとも連携し、デイケアや通所リハビリの活用を提案しています。馬場記念病院では、定期的な健康チェックを行いながら、必要に応じてリハビリテーションの内容を見直し、継続的な支援を行っています。



Column

ひと目でわかる！リハビリのステップ図

入院から退院後までのリハビリの流れを、5つのステップでわかりやすく図解します。

STEP1
入院と初期評価



STEP2
入院中のリハビリ



STEP3
退院前の準備



STEP4
退院後の訪問リハ



STEP5
フォローアップ



(2025.3.14)

画像提供：PIXTA

